

地域医療支援病院業務報告書

富地医第5号の2  
令和4年9月14日

静岡県知事 川勝 平太 様

所在地 静岡県富士宮市錦町3番1号

開設者 名称 富士宮市立病院

代表者の氏名 富士宮市長 須藤 秀忠



令和3年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称
- 2 開設の場所
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績



別紙1 地域医療支援病院の名称及び開設の場所

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒418-0076 静岡県富士宮市錦町3番1号
氏名	富士宮市長 須藤 秀忠

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

富士宮市立病院
---------

3 所在の場所

〒418-0076 静岡県富士宮市錦町3番1号	電話 (0544) 27-3151
-------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	380床	380床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	<p>(主な設備)</p> 保育器・インフュージョンポンプ・呼吸器・ベッドサイドモニター・光線療法ユニット・TVモニターシステム・移動式モニター・気管支鏡ファイバースコープ 熱希釈心拍出量計・活性化凝固時間測定器・除細動器・AED 十二誘導心電計・二相式気陽圧ユニット 病床数 15床
化学検査室	<p>(主な設備)</p> 生化学自動分析装置・免疫分析装置・多項目自動血球測定装置・血液凝固測定装置・光学顕微鏡・電気泳動装置
細菌検査室	<p>(主な設備)</p> 細菌同定感受性検査装置・落射式蛍光顕微鏡・安全キャビネット・嫌気培養装置
病理検査室	<p>(主な設備)</p> 自動染色装置・自動免疫染色装置・自動特殊染色装置・凍結切片作成装置・包埋ブロック作成装置・光学顕微鏡・顕微鏡写真撮影装置
病理解剖室	<p>(主な設備)</p> 解剖台・無影灯・吸引装置・写真撮影装置
研究室	<p>(主な設備)</p> パソコン・プリンタ 血管吻合用顕微鏡(練習用)
講義室	室数2室 収容定員200人
図書室	室数2室 蔵所数1,000冊程度、パソコン・プリンタ
救急用又は患者搬送用自動車	<p>(主な設備) 赤色回転灯、サイレン、拡声器、エアコン</p> 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積10.25㎡ [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

## 別紙2 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

(他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績)

## 1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	73.6%	算定 期間	2021年4月1日～2022年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	55.3%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		6,895人
	B：初診患者の数		9,368人
	C：逆紹介患者の数		5,186人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

別紙 3 共同利用の実績

(地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類)

1 共同利用の実績

・医療機器	
CTの共同利用	医療機関の延べ数 350施設 (うち開設者と関係のない医療機関の延べ数 350施設)
MR Iの共同利用	医療機関の延べ数 401施設 (うち開設者と関係のない医療機関の延べ数 401施設)
超音波の共同利用	医療機関の延べ数 151施設 (うち開設者と関係のない医療機関の延べ数 151施設)
骨盤計測の共同利用	医療機関の延べ数 1施設 (うち開設者と関係のない医療機関の延べ数 1施設)
内視鏡の共同利用	医療機関の延べ数 4施設 (うち開設者と関係のない医療機関の延べ数 4施設)
核医学の共同利用	医療機関の延べ数 13施設 (うち開設者と関係のない医療機関の延べ数 13施設)
その他	医療機関の延べ数 23施設 (うち開設者と関係のない医療機関の延べ数 23施設)
合計	医療機関の延べ数 943施設 (うち開設者と関係のない医療機関の延べ数 943施設)
病床利用率 0%	

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

放射線科 全身用マルチスライスCT (64列CT) 磁気共鳴断層撮影装置 (MR I) 核医学検査装置 (R I) 超音波断層装置 内視鏡検査装置
共同利用病床 (10床)

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無  有  無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: XXXXXXXXXX  
職種: 事務職員

(注) 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
<p>共同利用の登録医療機関名簿に記載された医療機関数            医科78施設            (うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・76施設)</p> <p>※登録医療機関名簿は、別添(3-4)のとおり</p>				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

## 別紙 4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

## 1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師 (内科科長)		<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	7時間45分	臨床経験年数25年 日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本透析医学会専門医
2	医師 (外科科長)		<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	7時間45分	臨床経験年数30年 日本外科学会専門医 マンモグラフィ読影認定医 がん治療認定医
3	医師 (循環器内科科長)		<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	7時間45分	臨床経験年数28年 日本内科学会認定専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医
4	医師 (産婦人科科長)		<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	7時間45分	臨床経験年数26年 日本産婦人科学会指導医 日本産婦人科学会専門医 周産期(母体・胎児)暫定代表指導医 周産期(母体・胎児)専門医 母体保護法指定医
5	医師 (眼科科長)		<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	7時間45分	臨床経験年数34年 日本眼科学会専門医
6	医師 (小児科科長)		<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	7時間45分	臨床経験年数17年 日本小児科学会小児科専門医
7	看護師		<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	7時間45分	看護経験年数35年 外傷看護セミナー修了 (救急外来担当)
8	看護師		<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	7時間45分	看護経験年数14年 外傷看護セミナー修了 (救急外来担当)

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	17床
専用病床	0床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

### 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急治療室	154.49㎡	(主な設備) 無影灯(6)・超音波診断装置(1)・多機能心電計(1)・パラパックプラス310(ベンチレーター)(1)・タニケットシステム(1)・ベッドサイドモニター(5)・シリンジポンプ(2)・除細動器ハートスタート・MRX(1)・輸液ポンプ(2)・メラサキューム(2)・バイポーラ(2)・カーリーナ(1)・吸入器(2)	可
救急放射線検査・治療室 (血管連続撮影室、CT室他)	1012.80㎡	(主な設備) X線CT装置(2)・X線TV装置(2)・CRシステム(2)・一般X線撮影装置(4)・MRI装置(1)・多目的血管連続撮影装置(1)	可
手術室	617.27㎡	(主な設備) バイオクリーンルーム・TV・ビデオモニター一式・イメージ・手術用顕微鏡システム・洗浄滅菌装置・麻酔記録オーダーリングシステム・無影灯・除細動器ハートスタートXL・超音波診断装置	可
薬局	313.67㎡	(主な設備) 持参薬管理センター・化学療法ミキシング室(安全キャビネット)・調剤支援システム(錠剤分包器・散剤分割分包器・散剤鑑査システム・水剤鑑査システム)・注射系調剤支援システム(アンプルピッカー)・薬品管理システム・保冷库・DI室・製剤室(クリーンベンチ・オートクレーブ)	可
臨床検査室	521.83㎡	(主な設備) 生化学自動分析装置(2)・血液ガス分析装置(2)・自動血球計数装置(1)・尿定性検査装置(1)・血液凝固検査装置(1)	可

### 4 備考

- ・静岡県地域がん診療連携推進病院
- ・臨床研修病院
- ・難病医療協力病院
- ・産科救急受人医療機関
- ・日本臓器移植ネットワーク認定献腎移植施設

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。



5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,902人 (1,671人)
上記以外の救急患者の数	2,658人 (1,200人)
合計	5,560人 (2,871人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

別紙5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績  
 (地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

## 1 研修の内容

富士宮市立病院CPC（臨床病理検討会） 開催延べ数5回  
 研修参加者延べ数 110人  
 内 当病院参加者数 101人（医師 74人、医師以外 27人）  
 内 院外参加者数 9人（医師 1人、医師以外 8人）  
 ※地域の医療機関に開催周知を行ったが、5回開催中の3回は院外参加者0人。

医薬品の取扱いについて 開催延べ数1回  
 研修参加者延べ数 66人  
 内 当病院参加者数 60人（医師 0人、医師以外 60人）  
 内 院外参加者数 6人（医師 0人、医師以外 6人）

心不全を多職種で考える会 開催延べ数1回  
 研修参加者延べ数 111人  
 内 当病院参加者数 46人（医師 2人、医師以外 44人）  
 内 院外参加者数 65人（医師 8人、医師以外 57人）

【計】287人 病院参加者数 207人（医師 76人、医師以外131人）  
 院外参加者数 80人（医師 9人、医師以外 71人）

※ 研修会ごとの目的、対象者、参加者数の実績等は、別添5のとおり

## 2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	7回
(2) (1) の合計研修者数	287人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ・無  
 イ 研修委員会設置の有無 ・無  
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
	医師	循環器内科	院長 兼医療安全管理 室長兼地域医療 連携室長	37年	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会総合内科指導医 日本循環器学会認定循環器専門医 日本循環器学会認定循環器指導医 プログラム責任者養成講習会修了
	医師	外科	副院長兼 外科科長兼 診療情報管理室 長	35年	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本がん治療認定医 日本消化器がん外科治療認定医
	医師	病理科	診療部長兼 病理診断科科长	38年	日本病理学会専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会認定医
	医師	脳神経外科	診療部長兼 脳神経外科科長	35年	日本脳神経外科学会専門医
	医師	眼科	眼科科長	34年	日本眼科学会専門医
	医師	外科	外科科長	33年	日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会評議員 日本内視鏡外科学会技術認定(消化器・一般外科) 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
	医師	放射線科	放射線科科长	32年	日本医学放射線学会治療専門医 日本医学放射線学会研修指導者
	医師	外科	外科科長	30年	日本外科学会専門医 がん治療認定医 マンモグラフィ読影認定医
	医師	外科	外科科長	29年	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医 日本消化器内視鏡学会認定医 日本消化器病学会認定医 外科周術期感染管理認定医 インфекションコントロールドクター(ICD)

医師	外科	外科科長	28年	医学博士 日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本乳癌学会乳腺指導医 日本乳癌学会乳腺専門医 マンモグラフィ検診読影医 (A判定) 乳腺超音波講習会試験 (A判定) 乳房再建用講習会修了 緩和ケア研修修了 浜松医科大学指導医講習会受講済
医師	循環器内科	循環器内科科長	28年	日本内科学会認定専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンショナル治療学会専門医
医師	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科科長	28年	日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医
医師	循環器内科	循環器内科科長	28年	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンショナル治療学会専門医
医師	産婦人科	産婦人科科長	26年	日本産婦人科学会指導医 日本産婦人科学会専門医 周産期 (母体・胎児) 暫定代表指導医 周産期 (母体・胎児) 専門医 母体保護法指定医
医師	放射線科	放射線科科長	25年	日本放射線学会専門医 放射線科専門医研修指導者
医師	腎臓内科	腎臓内科科長	25年	日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本透析医学会専門医
医師	外科	外科科長兼医局長	25年	日本呼吸器外科専門医 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医 日本禁煙学会認定指導医
医師	整形外科	整形外科科長	23年	日本整形外科整形外科専門医 日本整形外科学会認定リウマチ医 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本整形外科学会認定運動器科医 身体障害者福祉法等指定医
医師	泌尿器科	泌尿器科科長	22年	日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医
医師	放射線科	放射線科科長	21年	日本放射線学会診断専門医 PET核医学認定医 日本核医学会専門医
医師	脳神経外科	脳神経外科科長	20年	日本脳神経外科学会専門医

医師	消化器内科	消化器内科科長	20年	日本内科学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定機構がん治療認定医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化管学会胃腸科認定医
医師	整形外科	整形外科科長	19年	日本整形外科学会専門医
医師	整形外科	整形外科科長	17年	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会スポーツ医
医師	小児科	小児科科長	17年	日本小児科学会専門医
医師	内科	内科科長	16年	
医師	麻酔科	麻酔科科長	16年	日本麻酔科学会標榜医
医師	外科	外科科長	14年	日本外科学会専門医
医師	外科	外科科長	14年	日本外科学会専門医 呼吸器外科学会専門医 呼吸器外科学会評議員 呼吸器内視鏡学会指導医 呼吸器内視鏡学会専門医 ロボット手術 certificate 有資格者 医学博士
医師	麻酔科	麻酔科科長	13年	麻酔科学会指導医 麻酔科学会専門医 麻酔科認定医 麻酔科標榜医 日本老年麻酔学会認定医 新生児蘇生法普及事業Aコース終了 臨床研修指導医講習会受講済 日本周生期医療支援機構プロバイダー コース終了 日本母体救命システム普及協議会ゴール ドインストラクター 日本小児麻酔学会認定医 産科麻酔緊急シミュレーション受講 日本区域麻酔認定試験(J-RACE)認定医 緩和ケア研修会終了
医師	腎臓内科	腎臓内科科長	13年	
医師	産婦人科	産婦人科科長	12年	日本産婦人科学会専門医
医師	皮膚科	皮膚科医長	10年	日本皮膚科学会専門医
医師	消化器内科	消化器内科医長	9年	日本内科学会認定内科医
医師	放射線科	放射線科医長	8年	
医師	消化器内科	消化器内科医長	8年	日本内科学会認定内科医
医師	外科	外科医長	7年	日本外科学会専門医

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	107.08 m <sup>2</sup>	パソコン、プロジェクター
南棟第1会議室	101.68 m <sup>2</sup>	プロジェクター、マイク設備一式
南棟第2会議室	101.68 m <sup>2</sup>	プロジェクター、マイク設備一式
図書室	99.51 m <sup>2</sup>	インターネットパソコン
2階病棟カンファレンスルーム	15.84 m <sup>2</sup>	
3階A病棟カンファレンスルーム	7.75 m <sup>2</sup>	
3階B病棟カンファレンスルーム	10.44 m <sup>2</sup>	
4階A病棟カンファレンスルーム	7.75 m <sup>2</sup>	
4階B病棟カンファレンスルーム	17.76 m <sup>2</sup>	
5階A病棟カンファレンスルーム	7.75 m <sup>2</sup>	
5階B病棟カンファレンスルーム	17.76 m <sup>2</sup>	
地域包括ケア病棟カンファレンスルーム	18.21 m <sup>2</sup>	
多目的会議室	51.07 m <sup>2</sup>	Web会議用機材一式
会議室	26.82 m <sup>2</sup>	
MR棟大会議室	43.89 m <sup>2</sup>	


## 別紙6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長 佐藤 洋		
管理担当者氏名	診療情報管理室長 地域医療連携室長 病院管理課長 医事課長		

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		診療情報管理室	患者IDごとに分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	暦年分類
	救急医療の提供の実績	医事課	暦年分類
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	暦年分類
	閲覧実績	医事課	暦年分類
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	暦年分類

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

## 別紙7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	病院長 佐藤 洋	
閲覧担当者氏名	診療情報管理室長 地域医療連携室長 病院管理課長 医事課長	
閲覧の求めに応じる場所	医事課、応接室	
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>開示を求めようとする者は、主治医または医事課に開示請求書（代理人申請の場合は委任状要）を提出する。</p> <p>申し入れを受けた主治医または医事課は、申請者・代理人等の身分確認を行うとともに、速やかに診療記録等を開示するか否かの判断（決定）を病院長に仰ぎ、決定事項を開示請求者に通知する。</p> <p>また、複写等に要した代金等の実費を複写申請した者に請求する。（閲覧のみは請求なし）</p>		

前年度の総閲覧件数		89件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	89件



## 別紙8 医療法施行規則第9条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回
委員会における議論の概要	
<p>令和3年度 第1回地域医療連携推進委員会</p> <p>日時 令和3年7月19日(月)</p> <p>場所 院内 南棟4階 南会議室</p> <p>委員総数 8名</p> <p>出席委員数 8名</p> <p>議題</p> <p>(1) 紹介率・逆紹介率等の前年度実績報告について</p> <p>(2) 整形外科患者搬送の実績報告について</p> <p>(3) 意見交換</p> <p>【病院への意見及び対応状況概要】</p> <p>「市立病院から退院したばかりの方が救急車を呼んで、救急隊が市立病院に受入れを依頼したところ救急医療センターに行くように言われたという事例がありました。明らかに病名も分かっている、また、入院するしかないの、救急医療センターからあらためて市立病院に連絡して受けていただきました。」との発言に対して、</p> <p>委員から「今後はしっかりと受入れさせていただきます。」という主旨の回答をした。</p>	
<p>令和3年度 第2回地域医療連携推進委員会</p> <p>日時 令和4年2月21日(月)</p> <p>場所 院内 南棟4階 南会議室</p> <p>委員総数 8名</p> <p>出席委員数 8名</p> <p>議題</p> <p>(1) 令和3年度 紹介率・逆紹介率等の実績報告について</p> <p>(2) 整形外科患者搬送の実績報告について</p> <p>(3) 意見交換</p> <p>【病院への意見及び対応状況概要】</p> <p>「紹介した患者さんが市立病院を受診後にFAXで受診報告をいただきますが、入院になった場合は開業医からは分からないままです、FAXに入院したと一言書いていただきたいです。」との発言に対して、</p> <p>「現在、外来受診の報告は自動作成されたデータをそのまま送信しています。入院になった場合の報告ということですが、その場合は別の方法を考える必要がありますので、システム担当に相談して対応させていただきます。」と回答した。</p> <p>※この御意見を踏まえ、令和4年3月14日より、紹介患者様が入院になった旨を記載した文書(「入院確認連絡票」)を、病診担当から紹介元の先生宛てにFAXにて送信することとなった。</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

## 別紙 9 患者相談の実績

患者相談を行う場所	地域医療連携室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師 3 名 ( ) 社会福祉士 4 名 ( ) 事務職員 1 名 ( )
患者相談件数	9, 7 6 9 件 (内新規 2, 0 3 6) 件
患者相談の概要	
①経済的問題	3 0 件
②心理的・情緒的援助	1 8 件
③受診・受療援助	3 6 9 件
④高齢者退院援助	8, 6 2 1 件
⑤生活環境上の援助	5 8 件
⑥社会資源の紹介・斡旋	2 5 6 件
⑦その他	4 1 7 件
合計	9, 7 6 9 件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院早期から援助を開始し、患者・家族が入院中も退院後も不安なく療養生活が続けられるよう、問題解決・調整を行っている。患者に合った病院や施設を案内するために、複数回の相談を行うケースも多く、入院では再来件数が突出している。患者・家族には当院が急性期病院であることを充分理解し、退院・転院調整できるよう努めている。</li> <li>・ 社会資源の紹介・斡旋では難病対策支援として、特定疾患医療受給者証取得のための手続き援助や、身体障害者手帳取得、特定疾病申請のための支援など各種制度を利用するための援助を行っている。</li> <li>・ 経済的問題では限度額適用認定や高額療養貸付制度の利用など、医療費を支払いやすくするための方法をアドバイスしている。</li> </ul>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

## 別紙10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

## 1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 平成18年2月20日 日本医療機能評価機構病院機能評価施設認定 (Ver4.0) 平成23年2月20日 " (Ver6.0) 平成28年2月20日 " (3rdG: Ver. 1.1) 令和3年2月20日 " (3rdG: Ver. 2.0)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

## 2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 当院ホームページ及び広報誌(病院だより) 医療職募集案内や院内紹介等をホームページにより随時発信、また病院だよりについては、院外医療職及び市民向け研修・セミナー開催案内等を年4回発行し、市内公民館や各出張所に配布している。	

## 3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
退院調整部門の概要 ・部門の担当課(室)名: 地域医療連携室 ・職員数: 地域医療連携室長(院長兼任)、副室長(看護師長)、 訪問看護担当(看護師3名)、退院支援担当(看護師2名) 医療相談(社会福祉士4名、事務1名)、病診連携(事務2名) ・業務内容: 訪問看護、医療相談、病診連携、患者相談 ・退院に係る実績: 退院調整加算等…総合機能評価加算 3,050件 入退院支援加算 2,019件 介護支援等連携指導 693件 退院時共同指導 2件 退院前訪問指導 14件 高齢者退院援助: 新規1,481件・再来7,140件・合計8,621件	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
<p>・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</p> <p>・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み</p> <p>1. 名称 (大腿骨頸部骨折) 地域連携パス</p> <p>2. 内容</p> <p>①日付②ユニット名③イベント名④入外区分⑤クリティカルインディケータ (アウトカム: 看護目標・看護問題・注意事項、チェック) ⑥サマリ文書 (治療: 処方・注射・汎用・リハ. 検査: 検体検査・病理・画像・生理. 栄養: 朝・昼・夜. 患者状態: 院内標準安静度・整形外科安静度. 看護ケア: バイタル・測定一般・食事量・尿量・観察項目・清潔項目・安全項目・入院退院処置・手術処置項目・科別処置・薬剤項目・栄養項目・パスケア・観察記事. 必要時: 発熱時・疼痛時・嘔気時・不眠時・不穏時・便秘時・血圧高値・血圧低値・痙攣時・その他)</p> <p>3. 実績 (令和3年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者数: 173名 (内パス適用者125名) 平均年齢: 83.0歳</li> <li>・平均在院日数: 23.2日 (内パス適用者23.8日)</li> </ul> <p>4. 普及促進の取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内パス会議を開催し、内容について検討している。</li> <li>・日頃より他医療機関との連携を図り、パスの活用を円滑に進めている。</li> </ul> <p>5. 委員会等の名称 大腿骨頸部骨折地域連携パス委員会</p> <p>6. 開催日 年3回実施</p> <p>7. 委員の現員数 院内11名 院外7施設</p> <p>1. 名称 (脳卒中) 地域連携パス</p> <p>2. 内容</p> <p>①日付②ユニット名③イベント名④入外区分⑤クリティカルインディケータ (アウトカム: 看護目標・看護問題・注意事項、チェック) ⑥サマリ文書 (治療: 処方・注射・汎用・リハ. 検査: 検体検査・病理・画像・生理. 栄養: 朝・昼・夜) ⑦患者状態 (看護ケア: バイタル・測定一般・観察項目・清潔項目・パスケア・観察記事. 必要時: 発熱時・腹痛以外の疼痛時・嘔気時・不眠時・便秘時・血圧高値・痙攣時・筋力低下時)</p> <p>3. 実績 (令和3年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者数: 135名 (内パス適用者57名) 平均年齢: 73.9歳</li> <li>・平均在院日数: 36.1日 (内パス適用者43.7日)</li> </ul> <p>4. 普及促進の取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内パス会議を開催し、内容について検討している。</li> <li>・日頃より他医療機関との連携を図り、パスの活用を円滑に進めている。</li> </ul> <p>5. 委員会等の名称 脳卒中地域連携パス委員会</p> <p>6. 開催日 年3回実施</p> <p>7. 委員の現員数 院内11名 院外5施設</p>	

## 登録医療機関の名簿

NO	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との 経営上の関係
1	青木クリニック	青木 秀夫	富士宮市内房3215-5	内科	無
2	朝霧高原診療所	山本 竜隆	富士宮市猪之頭1772-2	内科	無
3	あしざわ医院	芦澤 厚志	富士宮市弓沢町133	循環器科・内科	無
4	阿南胃腸科外科	阿南 晃	富士宮市小泉2145-7	胃腸科・外科	無
5	安藤眼科医院	安藤 俊美	富士宮市神田川町5-11	眼科	無
6	池田医院	池田 雅一	富士宮市淀師1455	耳鼻咽喉科	無
7	池田クリニック	池田 祐司	富士宮市下条148-1	内科・胃腸科	無
8	池谷皮膚科医院	池谷 精司	富士宮市中央町3-14	皮膚科	無
9	いしかわ皮膚科	石川 高康	富士宮市北町6-21	皮膚科	無
10	いのうえ整形外科クリニック	井上 悟	富士宮市大岩277-7	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	無
11	浦野内科クリニック	浦野 芳治	富士宮市中原町218	内科	無
12	おいかわクリニック	及川 博	富士宮市小泉1975-19	消化器内科・内視鏡内科・肛門外科・外科	無
13	大宮望月クリニック	望月 孝典	富士宮市大宮町18-22	内科・消化器内科	無
14	岡村医院	岡村 文夫	富士宮市淀平町369-1	内科	無
15	小田部産婦人科医院	小田部 淳	富士宮市ひばりが丘166	産婦人科	無
16	片桐整形外科	片桐 敬	富士宮市西町26-9	整形外科	無
17	加藤脳神経外科	加藤 康雄	富士宮市三園平668-2	脳神経外科	無
18	北川内科医院	北川 安男	富士宮市光町10-15	内科	無
19	北山医院	高橋 敏信	富士宮市北山2695-2	胃腸科・外科	無
20	きのうち整形外科クリニック	木ノ内 秀和	富士宮市浅間町3-15	整形外科・リハビリテーション科・麻酔科	無
21	協愛医院	佐野 真一	富士宮市宮町8-7	耳鼻咽喉科	無
22	小久保皮膚科泌尿器科医院	小久保 一也	富士宮市貴船町8-22	皮膚科・泌尿器科	無
23	後藤外科医院	後藤 慎介	富士宮市東町9-1	外科	無
24	小林内科クリニック	小林 伸一郎	富士宮市粟倉南町117-1	内科・腎臓内科	無
25	さいとう眼科医院	齋藤 憲	富士宮市西小泉30-3	眼科	無
26	桜田医院	桜田 勝美	富士宮市大久保14-1	内科・小児科・麻酔科	無
27	指山泌尿器科	指山 昌秀	富士宮市朝日町9-5	泌尿器科・人工透析	無
28	さちスキンクリニック	小池 幸子	富士宮市西町23-2	形成外科・美容外科・皮膚科	無
29	さとうクリニック	佐藤 顕彦	富士宮市中央町12-3	脳神経外科	無
30	佐藤内科医院	佐藤 周三	富士宮市羽田583	内科	無
31	佐野医院	佐野 弥文次	富士宮市小泉2186-5	内科	無
32	佐野記念クリニック	蕉木 倫彦	富士宮市宮町13-30	内科・外科	無
33	佐野内科クリニック	佐野 聡	富士宮市田中町185-6	内科・消化器科・呼吸器科・リウマチ科・小児科	無
34	シモタクリニック	霜多 広	富士宮市前田町137-5	呼吸器外科・乳腺外科・外科・内科	無
35	すずき耳鼻咽喉科クリニック	鈴木 高広	富士宮市大岩274-1	耳鼻咽喉科	無
36	関医院	関 泰	富士宮市万野原新田3107-1	外科・消化器科・内科	無
37	竹川医院	竹川 康	富士宮市上井出106	小児科・内科	無
38	田中医院	田中 洋介	富士宮市舞々木町711-2	内科・胃腸科・外科・肛門科	無
39	谷口小児科医院	谷口 和夫	富士宮市弓沢町800	小児科	無
40	谷口内科クリニック	谷口 幹太	富士宮市矢立町910-4	内科・糖尿病内科	無
41	天神眼科医院	天神 光充	富士宮市若の宮町335	眼科	無
42	天神産婦人科医院	天神 弘尊	富士宮市若の宮町398	産婦人科	無
43	天神整形外科医院	天神 宏純	富士宮市若の宮町398	整形外科	無
44	東静岡神経センター	土居 一丞	富士宮市西小泉町14-9	脳神経内科・内科・リハビリテーション科	無
45	ときた呼吸器科・内科クリニック	時田 心悟	富士宮市貴船町6-18	呼吸器内科・内科・アレルギー科	無
46	土谷医院	土谷 春仁	富士宮市小泉454-1	内科・消化器科・胃腸科・小児科	無
47	戸田眼科医院	戸田 義喜	富士宮市宮原128-1	眼科	無
48	戸塚内科クリニック	戸塚 盛計	富士宮市中央町11-11	内科	無
49	ないとう整形外科クリニック	内藤 健一	富士宮市西小泉町31-6	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	無
50	なかがわ眼科	中川 里佳	富士宮市大岩275-1	眼科	無

## 登録医療機関の名簿

NO.	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
51	永松医院	永松 清明	富士宮市東町26-8	内科・精神科	無
52	南陽堂内科循環器科クリニック	佐野 壮一	富士宮市越波町12-8	内科・循環器科	無
53	西原医院	西原 健二	富士宮市東町10-4	眼科	無
54	野尻子どもファミリークリニック	豊田 茂	富士宮市宮町5-30	内科・小児科	無
55	原医院	原 太平	富士宮市山宮950-5	肛門科・外科・胃腸科・内科	無
56	板東レディースクリニック	坂東 尚	富士宮市杉田1016-7	産婦人科	無
57	光町クリニック	市川 靖一	富士宮市光町13-12	胃腸科・皮膚科	無
58	平野整形外科	平野 忠	富士宮市ひばりが丘650	整形外科	無
59	ヒロスマイルクリニック	甘楽 通徳	富士宮市万野原新田3923-2	心療内科・精神科・内科	無
60	ヒロ内科クリニック	甘楽 裕徳	富士宮市万野原新田3925-4	一般内科・消化器内科・肝臓内科・内視鏡内科	無
61	富士心身リハビリテーション研究所附属病院	高橋 伸忠	富士宮市星山1129	精神科・神経科・心療内科・内科	無
62	一般財団法人 富士脳障害研究所附属病院	齋藤 勇	富士宮市杉田270-12	脳神経外科・循環器科・神経内科・リハビリテーション科・麻酔科	無
63	富士宮ことう眼科	後藤 謙元	富士宮市西町28-16	眼科	無
64	南富士病院	窪田 裕輔	富士宮市宮原348-1	精神科・神経科・心療内科	無
65	富士宮中央クリニック	湖木 晃司	富士宮市宮原88-6	内科・外科・循環器科・消化器内科・リハビリテーション科	無
66	富士宮ペインクリニック	小林 光太郎	富士宮市小泉1538-23	内科・麻酔科	無
67	アジヤマ病院	池島 秀明	富士宮市原683-1	内科・神経内科・外科・整形外科・リハビリテーション科・放射線科	無
68	町田皮膚科クリニック	町田 秀樹	富士宮市小泉1975-24	皮膚科	無
69	松本整形外科医院	松本 安司	富士宮市西町8-8	整形外科	無
70	三浦医院	三浦 護之	富士宮市澁川町29-11	小児科	無
71	望月医院	望月 信幸	富士宮市元城町20-1	小児科・内科	無
72	森岡内科クリニック	森岡 明	富士宮市野中東町246	内科	無
73	安田医院	安田 善典	富士宮市小泉423-3	内科・小児科	無
74	吉見内科クリニック	吉見 輝也	富士宮市万野原新田3117-1	内科	無
75	米山クリニック	米山 秀彦	富士宮市中原町145	耳鼻咽喉科	無
76	渡辺クリニック	渡辺 政信	富士宮市三園平488-2	内科・泌尿器科	無

## 地域の医療従事者に対する研修の実施状況（令和3年度）

	実施日 (予定を含む)	研修名	目的	主催	研修参加者延べ人数						備考 (院外出席者)	
					当院参加者数			院外参加者数				合計
					医師	医師 以外	計	医師	医師 以外	計		
1	6.10(木)	第93回富士宮市立病院CPC	教育的示唆に富む症例等を対象として出席者が一つの症例から多くを学び取る。症例呈示医師は診断・治療方針について出席者から評価を受ける。	臨床研修管理委員会・ 副検委員会	15	3	18	0	8	8	26	看護師、臨床検査技師、他
2	6.23(水)	医薬品の取り扱いについて	医薬品の安全な取扱いの徹底。	医薬品部会	0	60	60	0	6	6	66	看護師、他
3	9.9(木)	第94回富士宮市立病院CPC	教育的示唆に富む症例等を対象として出席者が一つの症例から多くを学び取る。症例呈示医師は診断・治療方針について出席者から評価を受ける。	臨床研修管理委員会・ 副検委員会	16	7	23	0	0	0	23	—
4	9.30(木)	心不全を多職種で考える会	地域での心不全診療体制の構築、心臓リハビリ、訪問看護の課題、外來継続支援について多職種で検討する。	地域医療連携室	2	44	46	8	57	65	111	医師ほか
5	12.2(木)	第95回富士宮市立病院CPC	教育的示唆に富む症例等を対象として出席者が一つの症例から多くを学び取る。症例呈示医師は診断・治療方針について出席者から評価を受ける。	臨床研修管理委員会・ 副検委員会	19	7	26	0	0	0	26	—
6	1.27(木)	第96回富士宮市立病院CPC	教育的示唆に富む症例等を対象として出席者が一つの症例から多くを学び取る。症例呈示医師は診断・治療方針について出席者から評価を受ける。	臨床研修管理委員会・ 副検委員会	13	6	19	0	0	0	19	—
7	3.17(木)	第97回富士宮市立病院CPC	教育的示唆に富む症例等を対象として出席者が一つの症例から多くを学び取る。症例呈示医師は診断・治療方針について出席者から評価を受ける。	臨床研修管理委員会・ 副検委員会	11	4	15	1	0	1	16	医師
					76	131	207	9	71	80	287	

## 新型コロナウイルス感染症の流行の影響により開催できなかった研修(令和3年度)

	実施時期	研修概要	目的	主催	想定する出席者(職種)
1	5月頃	富士宮市立病院診療放射線技師勉強会 (年4回実施①)	学会・講習の参加報告、症例検討等	中央放射線科	技師
2	5月頃	医療機器の安全な取り扱いについて	医療機器の安全な使用方法について学ぶ。	医療機器部会	看護師
3	6月頃	緩和ケア研修会	緩和ケアについて学ぶ。	緩和ケアチーム	看護師
4	7月頃	災害医療講演会	震災等に備え、地域全体で共通の知識を共有し、適切な対応を学ぶ。	防災委員会(医療救護 検討部会)	医師、看護師、消防職員、市役所職員、 近隣自治会
5	8月頃	富士宮市立病院診療放射線技師勉強会 (年4回実施②)	学会・講習の参加報告、症例検討等	中央放射線科	技師
6	9月頃	危険予知訓練(KYT)研修	現場に数多く潜在している危険に気付くために危険予知 トレーニングを学ぶ。	療養環境部会	看護師、病児事務職員
7	11月頃	富士宮市立病院診療放射線技師勉強会 (年4回実施③)	学会・講習の参加報告、症例検討等	中央放射線科	技師
8	2月頃	富士宮市立病院診療放射線技師勉強会 (年4回実施④)	学会・講習の参加報告、症例検討等	中央放射線科	技師

※年度を通して流行の波が繰り返され、地域の医療関係者が参加する研修が企画しにくい状況が続いておりました。  
このため、詳細な日程等含めて言えば、具体的に企画・予定された研修はありませんでした。  
しかしながら、「近年は毎年開催していたが令和3年度に開催できなかった研修(コロナの影響により開催できなかった研修)」  
としては上記の8つの研修があります。



## 紹介率・逆紹介率等の月別推移実績(令和3年度)

紹介率＝紹介患者の数(D)÷初診患者の数(H)

紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全紹介患者の数 A	621	572	618	665	644	559	647	652	667	582	517	556	7,300
救急入院となった紹介患者数B	24	29	14	15	18	11	12	15	15	18	9	14	194
休日・夜間に他の医療機関からの紹介患者数 C	18	17	20	17	29	15	20	19	13	16	12	15	211
紹介患者数 D(A-B-C)	579	526	584	633	597	533	615	618	639	548	496	527	6,895
全初診患者の数 E	905	843	924	1,048	1,032	877	1,002	983	980	950	847	972	11,363
救急入院初診患者数 F	76	94	80	82	81	72	81	86	76	91	77	95	991
休日・夜間受診の救急初診患者の数 G	76	73	77	106	88	76	83	80	94	86	98	67	1,004
初診患者の数 H(E-F-G)	753	676	767	860	863	729	838	817	810	773	672	810	9,368
紹介率 % D/H	76.9%	77.8%	76.1%	73.6%	69.2%	73.1%	73.4%	75.6%	78.9%	70.9%	73.8%	65.1%	73.6%

逆紹介率＝逆紹介患者の数(K)÷初診患者の数(H)

逆紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
逆紹介患者数 I	390	362	436	419	445	387	399	396	393	379	388	511	4,905
地域連携診療計画管理料算定J	22	23	21	11	16	18	20	28	33	34	25	30	281
計 K(I+J)	412	385	457	430	461	405	419	424	426	413	413	541	5,186
初診患者の数 H	753	676	767	860	863	729	838	817	810	773	672	810	9,368
逆紹介率 % K/H	54.7%	57.0%	59.6%	50.0%	53.4%	55.6%	50.0%	51.9%	52.6%	53.4%	61.5%	66.8%	55.4%